

4 高度な産業教育を推進する高校

○ 研究の概要

独創性の開発や長期インターンシップなど、高校入学から上級学校等までの一体的で一貫した実践的教育プログラムを開発し、地方創生に資する高度な専門性や創造性を育む。

【 実践校 木曽青峰高等学校 】

○ 構 想 名

新しい時代を切り拓く地域の未来を担う若手産業人育成に向けた、高校と地域のもつ資源との一体的で一貫した新たな教育プログラムの構築

○ 目 標

高度な技能・技術と創造性・経営者感覚を備えた地域の未来を担う産業人を育成するために、以下のような高校での新たな学びと卒業後の学びをコンソーシアムによって結びつける教育プログラムを構築する。

- ①高校での新たな学びに、林業大学校や上松技術専門校、自治体や企業等と連携した実践的活動の他、地元への愛着を深め、自己の生き方をデザインし、木の新たな価値を見出す力を身につけるプログラム等を研究開発する。
- ②就職後は、コンソーシアム内で検討した地元複数企業での長期インターンシップを実施し、木に関わる広い業種で研修することで、より総合的な知識や考え方、技術、経験を身につける。
- ③県林業大学校、上松技術専門校との連携を強め、林大グレードアップ構想を踏まえながら一貫カリキュラムの研究開発を推進する。

○ 構 想 図

